

小林 建太（こばけん）

活動テーマ： 林業・里山再生
目 標： 稼げる里山の循環を作りたい！



プロフィール

【年 齢】 37歳

【出身地】 大阪府大阪市

【活動拠点】 北房

協力隊に応募したきっかけは？ 今後の抱負・任期後の目標は？

コロナ禍をきっかけに都会でのサラリーマン生活を続けることに不安を抱き、田舎の里山資源を活用して、「自分の手で生きる」ことを目指すようになりました。その手段として「林業」を主軸とした百姓的な生き方（半林半X）を実践したいと考えています。

また、既存の林業とは違った“多面的な稼ぎ方”を目指し、林業分野に留まらず、幅広いネットワークを構築するハブ役となり、真庭市の林業も盛り上げたいという想いで、協力隊に応募しました。

かつての里山は、地域の共有資源として共同管理されてきましたが、今では多くが手入れされず、荒れています。私は、自ら資源調査を行い、森林経営計画を立て、森林施業を実践する“山守”を目指しています。

また、整備した里山を舞台に、環境教育や企業研修、自然体験を通じて森と人をつなぐ活動を広げたいと思います。地元の山主さんに信頼され、地域に必要とされる山守を目指して頑張ります。

活動内容 Pick UP!

●森林サービス産業への挑戦

◆森林資源の収益化：木を伐るだけではなく、+αの価値づけ（里山セラピー、グリーンウッドワーク、エコツーリズム、自然体験イベントなど）

◆林業×観光×教育のクロス分野の可能性に挑戦

●井尾川流域森づくり構想

◆森林の団地化・集約化を進めることで、持続可能な「森林経営計画」を策定し、森林施業を実践する。

◆井尾川流域の森林を、自然と人の生業（林業）が調和する形で管理し、将来的には「自然共生サイト」への登録を目指す。

●良好な環境を活用した観光モデル事業

環境省のモデル事業。一般社団法人北房観光協会が実施する事業に、森林インストラクターとして関わる。真庭市を中心とする3エリアが連携し、岡山県の里山（真庭市）から、里海（備前市・笠岡市）まで、水で繋がる3つのエリアをひとつの「キャンパス」に見立てた体験型コミュニティです。単なる観光ではなく、里山・里海の連環を五感で学び、自然を再生させる「当事者」として関わる新しい旅のカタチを目指す。



OSSU Okayama Sustainable SATOYAMA / SATOUMI University